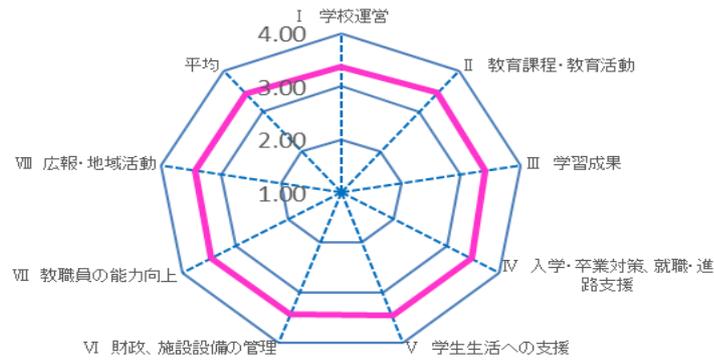


令和6年度 学校運営評価結果

区分	R6評価
I 学校運営	3.37
II 教育課程・教育活動	3.47
III 学習成果	3.40
IV 入学・卒業対策、就職・進路支援	3.48
V 学生生活への支援	3.46
VI 財政、施設設備の管理	3.43
VII 教職員の能力向上	3.46
VIII 広報・地域活動	3.44
平均	3.44



評価者尺度 十分に満たしている 4 満たしている 3 改善の余地がある 2 改善が必要 1

○ 令和6年度の学校運営最終評価の全体平均は約3.44ポイントで、全区分とも3（満たしている）以上となった。中間評価の全体平均約3.38ポイントより0.06ポイント上昇したが、令和5年度・令和4年度の全体平均約3.50ポイントより、0.06ポイントとわずかに下がった。

○ 8区分中最も評価が高かったのは「IV入学・卒業対策、就職・進路支援」の3.48ポイント、次いで「II教育課程・教育活動」の3.47ポイントであった。進路・就職支援については、「学生の特性を活かすように、個別の支援を行っている。」「既卒者に対しても国試対策の支援や就職相談対応を行っている。」等の意見があった。

○ 一方、評価ポイントが低かったのは「I学校運営」の3.37ポイント、「III学習成果」の3.40ポイントであった。Iに関しては、「執務室内での個人情報書類の取扱いについても更に配慮すべき」「情報共有をタイムリーに行うべき」等の意見があった。IIIに関して改善点を指摘する意見はなかったが、学習困難者に対する面接や強化学習等による指導を積み重ねても、なお、指導成果が見えにくいことに低めの評価とならざるを得なかったものと推察される。

○ 今般の調査結果を踏まえ、今後とも、質の高い看護師の養成を目指し、より効果的な学校運営と教育体制の強化に努めてまいりたい。